

県内行進終わりました 参加者延べ 661 人

7月2日から14日まで、13日間に亘って県内各地を歩きつないだ09年平和大行進の県内行進は、14日12時に福岡県吉富町の山国川河川敷で福岡県にリレーし終了しました。

13日間の県内行進は、3歳の子供さんから87歳のベテランまで幅広い参加者でした。また、職場から地域から多くの方々が参加されました。雨の中の行進もありましたが、全体としては天気にも恵まれ、猛暑の中の行進は終盤の3日間だけでした。行進の延べ参加者は661人で、日田・玖珠地区を除いた参加者数としては、昨年より40人の増加でした。

困難な職場環境の中から行進に参加された方、そして、代表を送り出していただいた職場の皆さん。多忙な活動にも拘わらず行進に参加された地域のみなさんにお礼を申し上げます。

県内 16 自治体を訪問しました

日田・玖珠地区を除く16自治体(大分県を含む)を訪問し、平和行進、世界大会への協力の要請するとともに、自治体での原爆写真展の開催など「非核行政」の充実を要請し、首長、議長に「核兵器のない世界を」署名をお願いし、世界大会ペナントへの記名と賛助募金をお願いしました。

自治体の対応は様々ですが、概ね要請に好意的でした。留守をする市長さんが事前に「署名、ペナント、募金」を用意して担当者に言付けていたり、話を進める中で自ら署名し、ポケットマネーで募金に応じたり、平和行進のホームページから、県内行進のニュースをダウンロードして、行進の様子を知った上で快く要請に応じてくれた自治体もありました。一方でペナントは書くが署名は待ってくれと言う自治体、募金はどこにも出していないからと断る自治体もありました。

どこの自治体でも、「核兵器のない世界」へ向かって国際社会が変化していることは共通して認識しており、プラハでのオバマ発言がよく話題になりました。

世界大会・長崎に職場、地域から代表を

今年の原水爆禁止世界大会は、8月7日～9日まで開かれる「長崎大会」がメインの大会です。平和行進を成功させた力で、世界大会成功のため職場、地域から代表を送り出しましょう。